

2022年12月期

第2四半期

決算説明資料

2022年11月1日



四国化成工業株式会社

目次

0. 当社事業の紹介	P3
I. 2022年12月期決算概要	P4
II. 2022年12月期 予想	P11
III. 長期ビジョン Challenge 1000 「STAGE 1」進捗状況	P14
IV. 新組織体制について	P24
V. 参考資料	P28

0. 当社事業の紹介

化学 品 事 業

無機化成品



タイヤ原料等

有機化成品



プール・浄化槽の
殺菌消毒剤等

ファインケミカル



電子部品用途薬剤
(プリント配線板向け薬剤、
樹脂改質剤等)

建 材 事 業

壁材



壁材
(内装材、外装材等)

エクステリア



エクステリア
(カーポート、門扉等)

**I . 2022年12月期
第2四半期
決算概要**

I - 1. 業績概要

◆売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が過去最高を記録

- ・売上高は化学品事業、建材事業ともに前年の水準を上回った
- ・利益はコロナ禍、ウクライナ情勢をはじめとする事業環境変化に起因する、高騰したエネルギー・資源、海上運賃の価格転嫁や為替の円安により増益
- ・為替レートはドル、ユーロともに円安になり、売上に対する為替影響額は前年比+2,040百万円のプラス

■ 連結経営成績

(百万円)

	2022/3 2Q		2022/12 2Q		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	25,266	100.0%	31,297	100.0%	6,031	23.9%
営業利益	3,795	15.0%	4,371	14.0%	576	15.2%
経常利益	4,116	16.3%	5,480	17.5%	1,364	33.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,943	11.6%	3,707	11.8%	764	26.0%
為替レート (円/US\$)	110		132			
為替レート (円/EUR)	131		136			

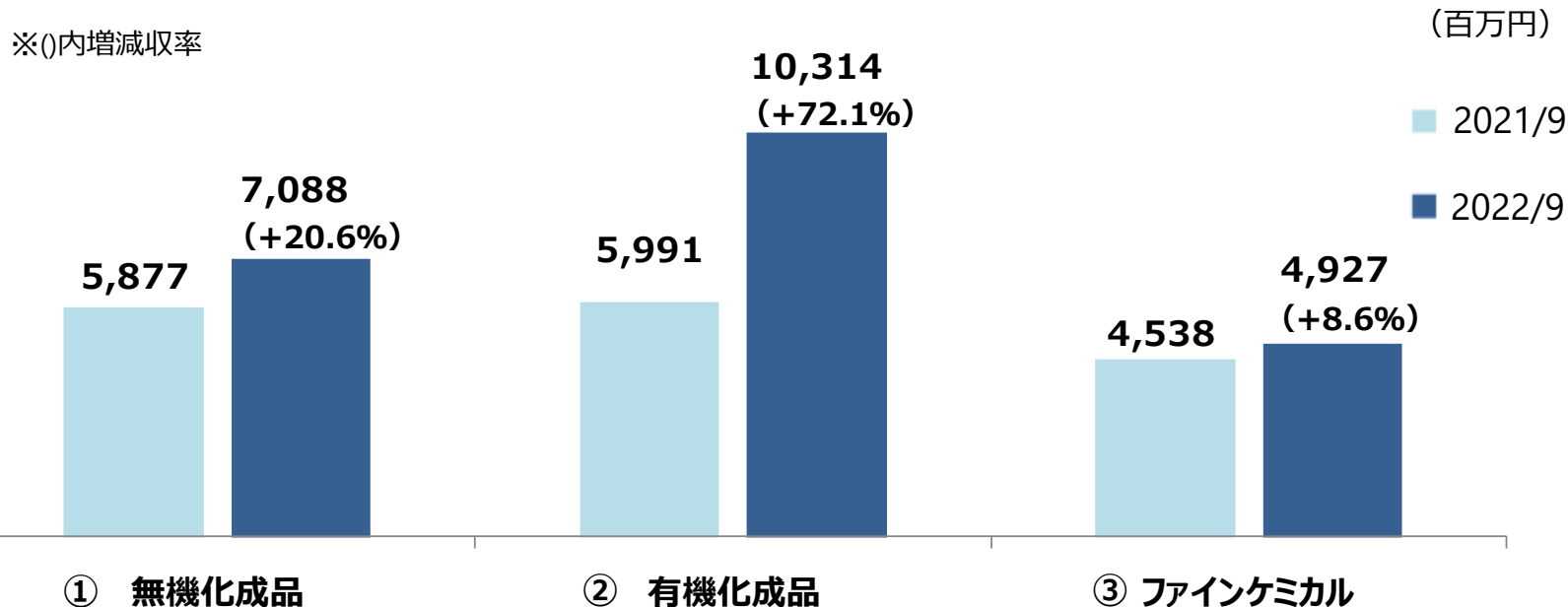
I - 2. セグメント別業績

- ◆売上高は、化学品事業、建材事業ともに対前年で増収
- ◆セグメント利益は、化学品事業は増益、建材事業は減益

(百万円)

売上高		2021/9	構成比	2022/9	構成比	増減率
化学品事業	無機化成品	5,877	23.3%	7,088	22.6%	20.6%
	有機化成品	5,991	23.7%	10,314	33.0%	72.1%
	ファインケミカル	4,538	18.0%	4,927	15.7%	8.6%
	小計	16,407	65.0%	22,330	71.3%	36.1%
建材事業	壁材	672	2.7%	647	2.1%	▲ 3.7%
	エクステリア	7,527	29.8%	7,784	24.9%	3.4%
	小計	8,199	32.5%	8,432	27.0%	2.8%
その他事業		658	2.5%	534	1.7%	▲ 18.8%
全社合計		25,266	100.0%	31,297	100.0%	23.9%
セグメント利益		2021/9	構成比	2022/9	構成比	増減率
化学品事業合計		3,614	95.2%	4,521	103.4%	25.1%
建材事業合計		1,058	27.9%	758	17.3%	▲ 28.3%
その他		▲ 877	▲ 23.1%	▲ 908	▲ 20.8%	3.7%
全社合計		3,795	100.0%	4,371	100.0%	15.2%

I - 3. セグメント別売上高概況 (化学品)

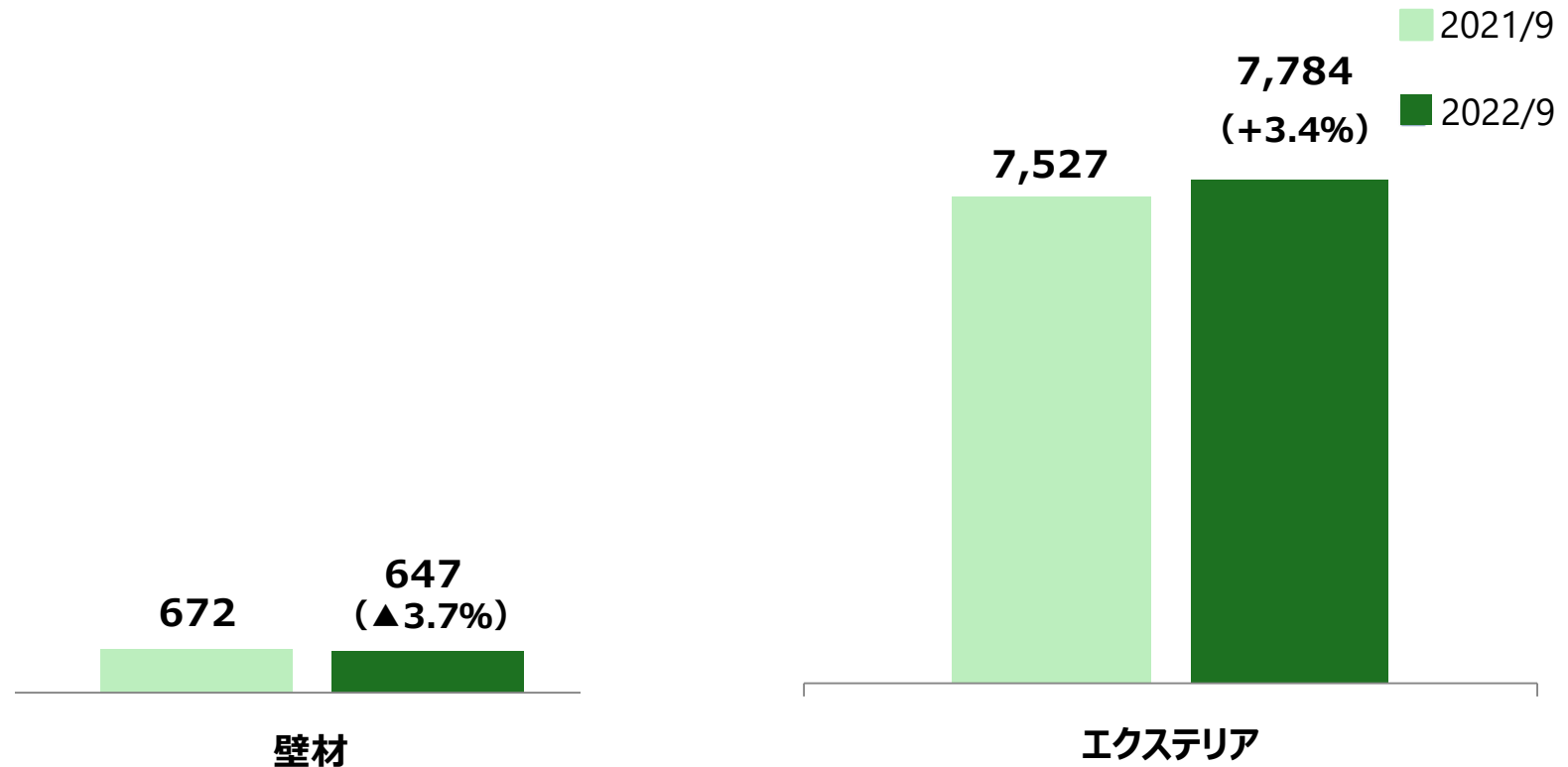


- ①ラジアルタイヤ向け原料である**不溶性硫黄**は、半導体不足による自動車生産の落ち込み等の影響を受けたものの、販売は概ね前年並みで推移。レーヨン・セロハン向けの**二硫化炭素**や浴用剤・合成洗剤向けの**無水芒硝**は、為替レートの円安や資源価格高騰の影響を価格転嫁し、収益性の回復を図った。
- ②殺菌消毒剤 **塩素化イソシアヌル酸**は、国内市場は、プール薬剤の販売回復等により、前年を上回った。米国市場は、プール市場の活況が続き、高稼働で生産を継続。また、高騰する資源価格や物流コストの価格転嫁に努めたことで、売上、利益ともに前年を上回った。
- ③プリント配線板向けの水溶性防錆剤タフエースを中心とする**電子化学材料**は、上海ロックダウンや半導体市場の調整等を受けて伸び悩んだ。エポキシ樹脂硬化剤や樹脂改質剤、半導体プロセス材料を中心とする**機能材料**は、樹脂改質剤の需要が好調で前年を大きく上回った。

I - 4. セグメント別売上高概況 (建材)

※()内増減収率

(百万円)

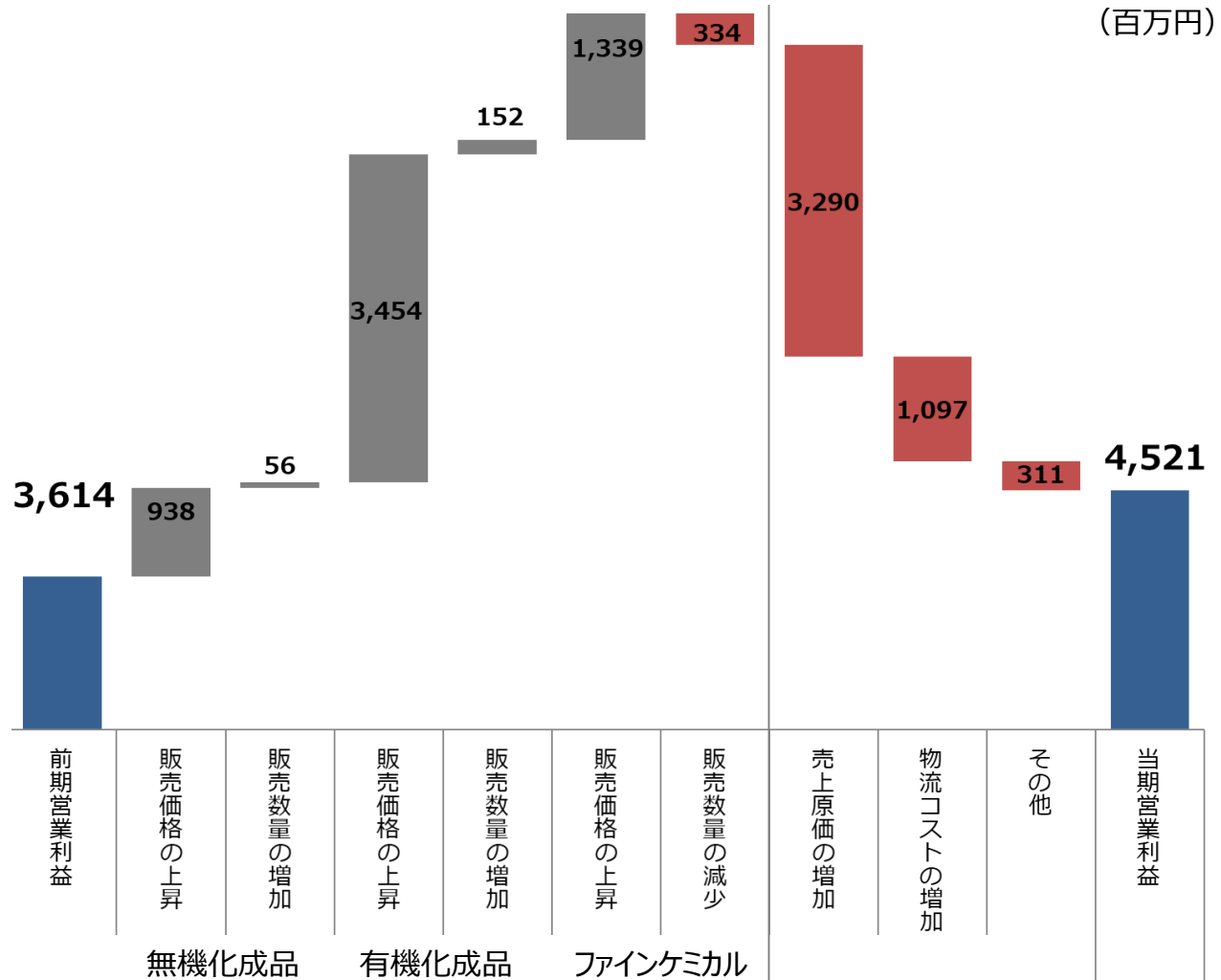


◆新設住宅着工戸数は、持家の着工が弱い動きを続けており、壁材、エクステリアともに需要は低調に推移したが、当期4月に実施した価格改定が浸透し、売上高は前年を上回った。

I - 5. 化学品セグメント利益 増減分析

◆原料、物流コストの高騰分を価格転嫁したことや円安影響により増益

(為替の影響 +1,180百万円)

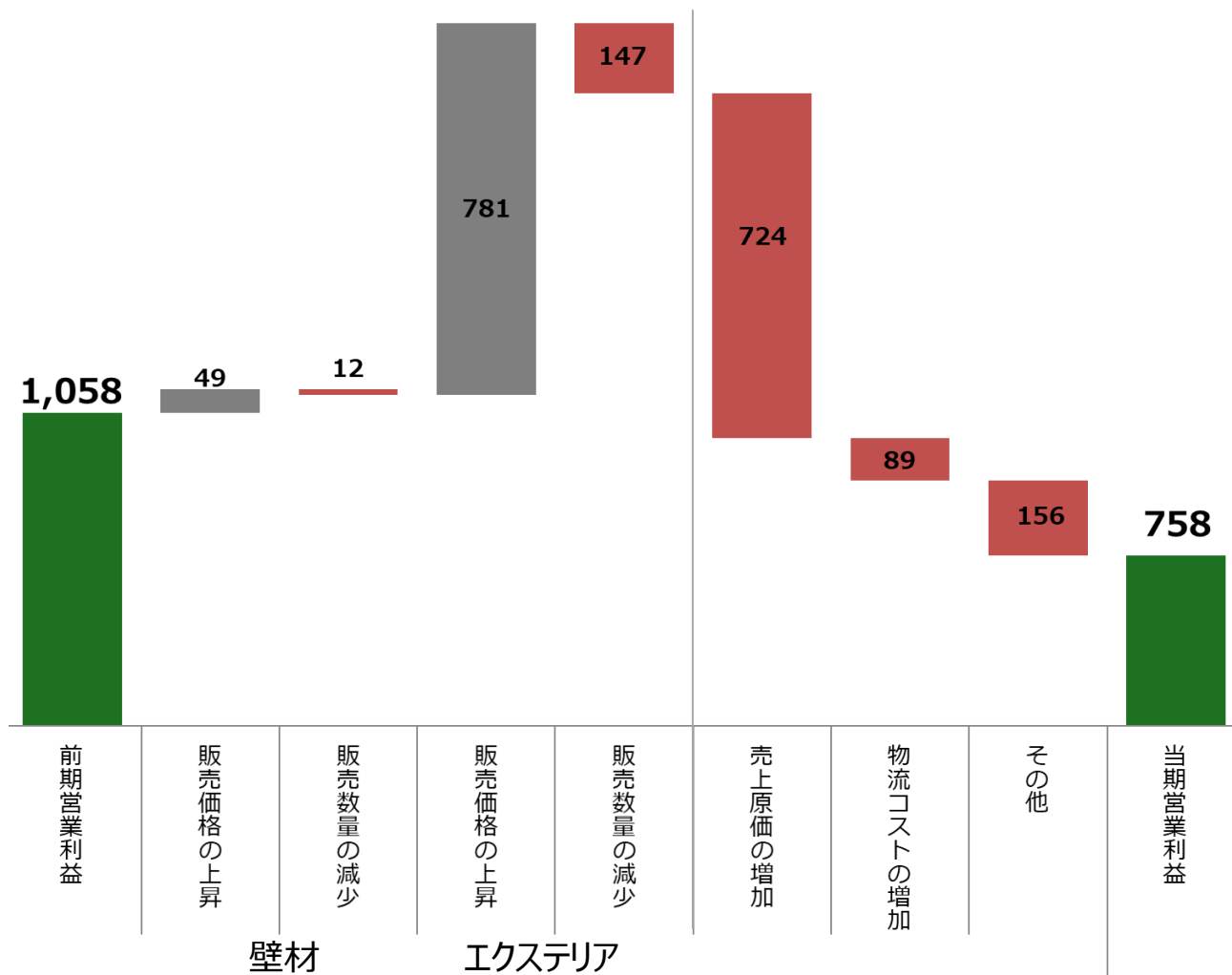


I - 6. 建材セグメント利益 増減分析

◆商品の値上げを実施したものの、原材料であるアルミ価格の高騰や壁材、エクステリアの生産調整により減益

(為替の影響 ▲144百万円)

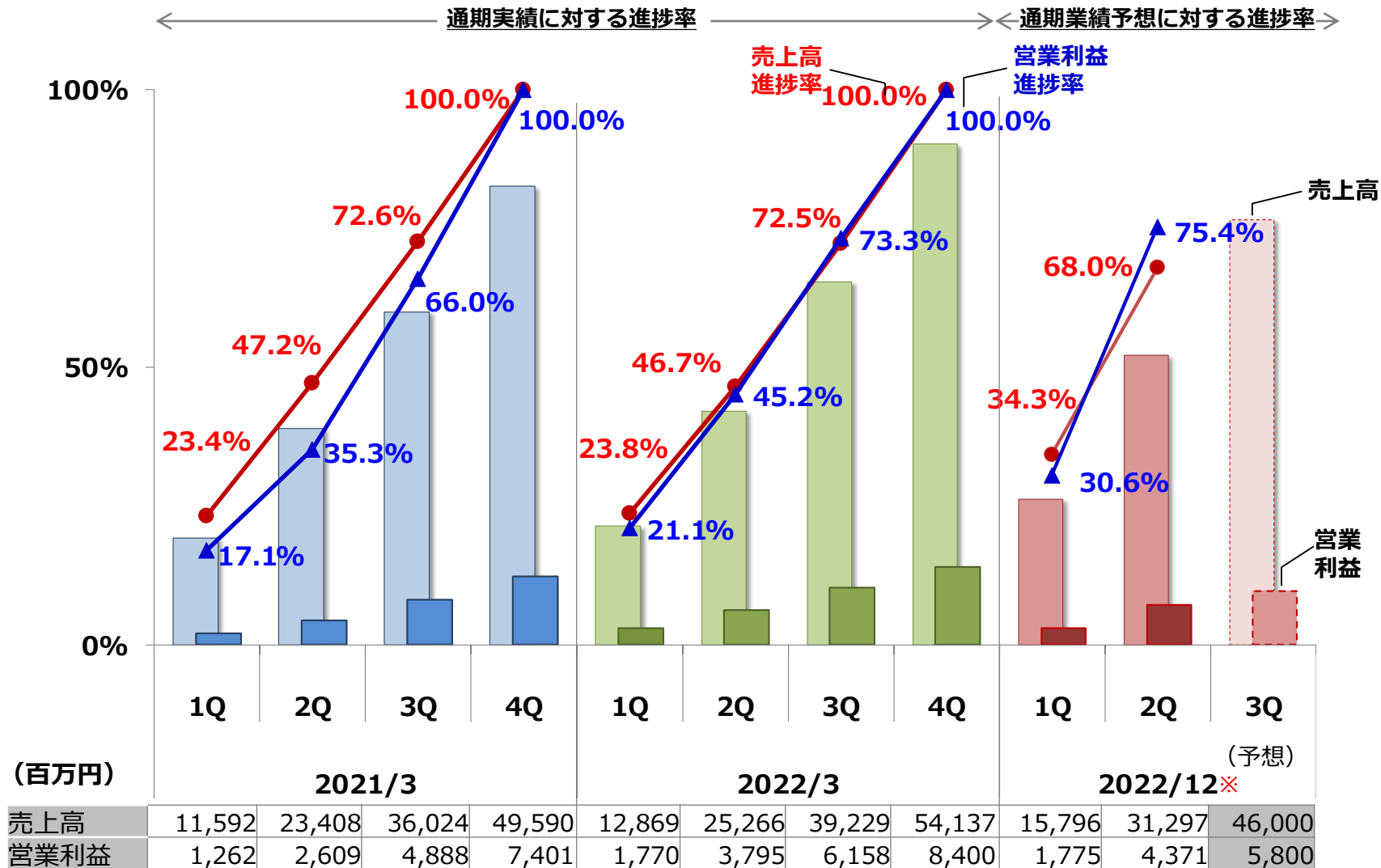
(百万円)



Ⅱ. 2022年12月期 予想

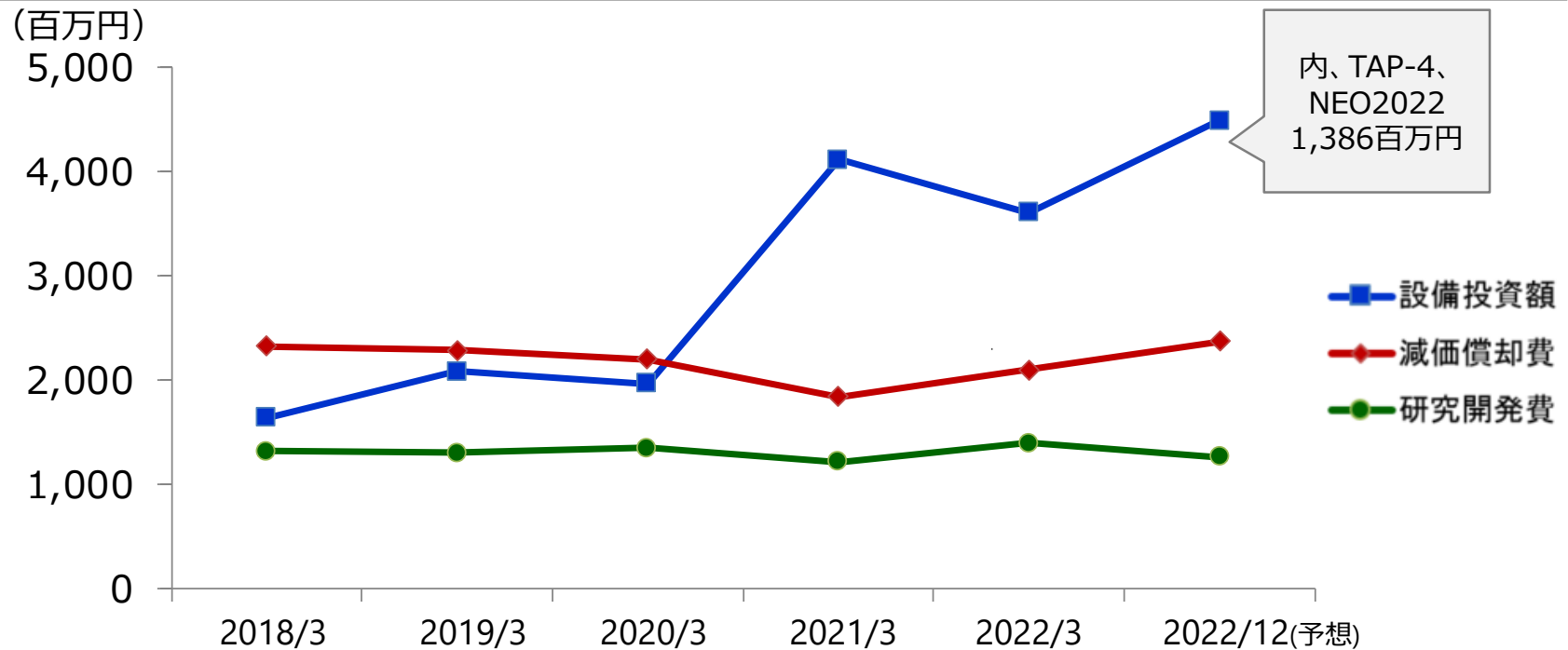
Ⅱ - 1. 進捗率 (連結・四半期)

- ・連結業績予想は期初発表時から修正なし
- ・通期では業績予想並みの見通し



※2022年度より決算期を12月に変更するため、当期は9カ月決算で3Qが期末

Ⅱ - 2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費 (連結)



	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2022/12 予想
設備投資額	1,628	2,073	1,961	4,106	3,599	4,477
減価償却費	2,318	2,281	2,189	1,835	2,090	2,368
研究開発費	1,310	1,295	1,338	1,207	1,392	1,259

Ⅲ. Challenge 1000

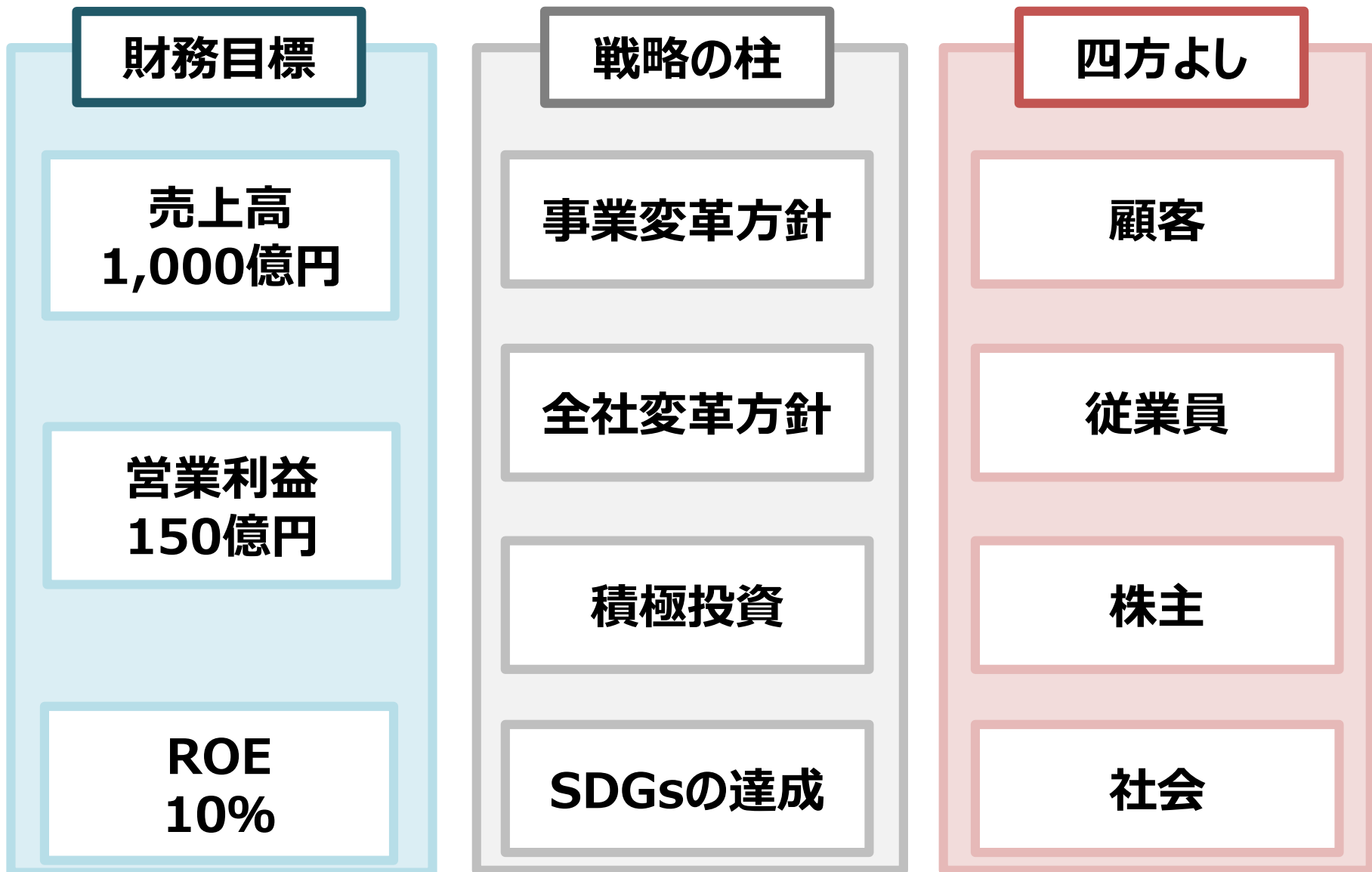
「STAGE 1」

－進捗状況－

Ⅲ - 1. Challenge 1000の概要①

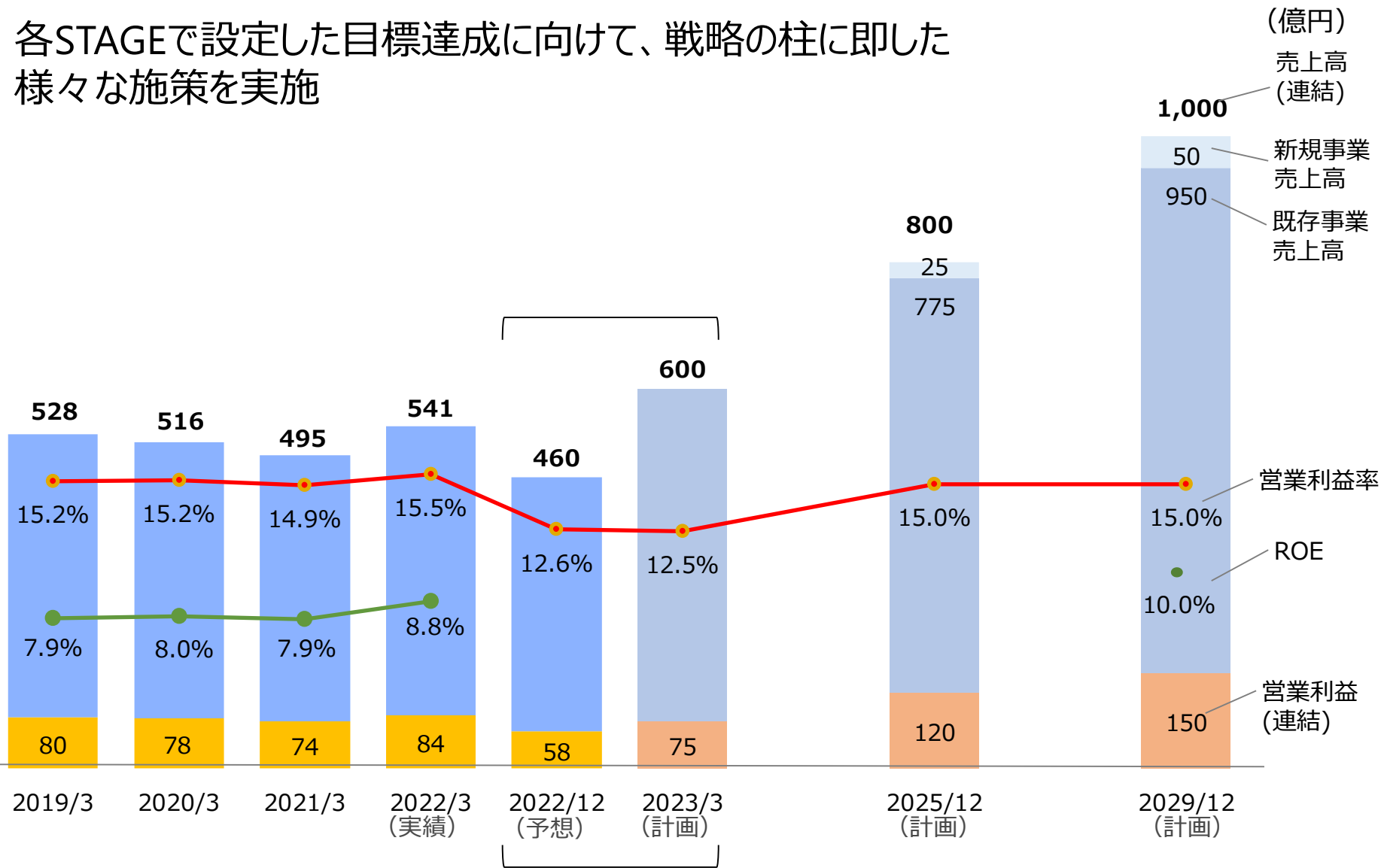


Ⅲ - 2. Challenge 1000の概要②



Ⅲ - 3. 財務目標・進捗

各STAGEで設定した目標達成に向けて、戦略の柱に即した様々な施策を実施



Ⅲ - 4. 進捗総括 (2021年度～)

財務目標

◆2022年12月期売上高は9カ月比較で前年を上回る見込み

- ・2022年度は「STAGE 1」最終年度。第2四半期は売上高、利益ともに過去最高。対前年（9カ月比較）で増収を見込む。

投資 ・ 事業

◆生産設備への投資を計画通り実施

- ・ファインケミカル事業の生産設備（TAP-4）、塩素化イソシアヌル酸の生産設備（NEO 2022）の投資を計画通り実施。
- ・2022年6月に新たに不溶性硫黄と塩素化イソシアヌル酸の増強をおこなうことを発表した。（詳細P19、20）

四方よし

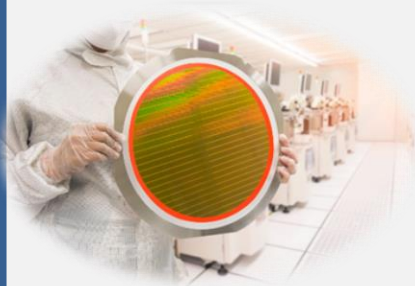
◆各ステークホルダーへの貢献活動を実行

- ・株 主：自社株買いの実施（詳細P23）
- ・社 会：丸亀工場に太陽光発電設備を導入。
瀬戸内国際芸術祭に「パークレット」を現物協賛
丸亀市と「にぎわいあるまちづくりに関する
連携協定」締結。



パークレット

Ⅲ - 5. 進捗状況（積極投資） ファインケミカル、無機



半導体シリコンウェハ

ファインケミカル生産設備（TAP-4）を新設

スケジュール：2021年7月より稼働開始

建設場所：徳島工場 北島事業所

投資額：25億円

特徴：試作から量産まで対応可能なマルチプラント
異物管理やppt(1兆分の1)レベルの低金属管理が可能な設備・
製造技術・分析技術を保有
IoT技術を実現する半導体分野に使用されている

売上目標：半導体プロセス材料分野で2030年まで20億円



不溶性硫黄

不溶性硫黄設備を新設

スケジュール：2024年12月稼働開始(予定)

建設場所：丸亀工場

投資額：45億円

生産能力：現在の1.2倍

投資目的：高機能タイヤの需要に伴い、その原料である不溶性硫黄も
高品質化に向けた取り組みを推進する
生産技術の開発を図るとともに拡販に向けた量産体制を整える

Ⅲ - 6. 進捗状況（積極投資） 有機化成品



NEO2022

塩素化イソシアヌル酸生産設備（NEO2022）を新設

スケジュール：2022年7月より稼働開始

建設場所：徳島工場北島事業所に新設

投資額：50億円

目的：生産の効率化と顧客への安定供給

塩素化イソシアヌル酸の生産能力を増強

スケジュール：2023年10月頃稼働開始（予定）

建設場所：徳島工場北島事業所（旧プラントを改修）

投資額：16億円

生産能力：「NEO2022」と合わせて同設備の稼働前の1.6倍

目的：塩素化イソシアヌル酸のさらなる需要拡大への対応

⇒家庭の衛生意識の高まりから除菌・洗浄需要の拡大

水の衛生環境の改善を世界に提供



塩素化イソシアヌル酸

Ⅲ-7. 事業変革方針（有機化成品事業）

洗濯槽クリーナー「WASHMANIA」を発売



製品ホームページ

ありたい姿「衛生・環境を守り、世界中の人にキレイを届ける事業」のもと、川下化をはじめ事業領域を拡大

Ⅲ - 8. 戦略の柱（SDGsの達成）

◆マテリアリティの設定：ステークホルダー及び当社グループにとって優先度の高い課題を抽出し、対応する。

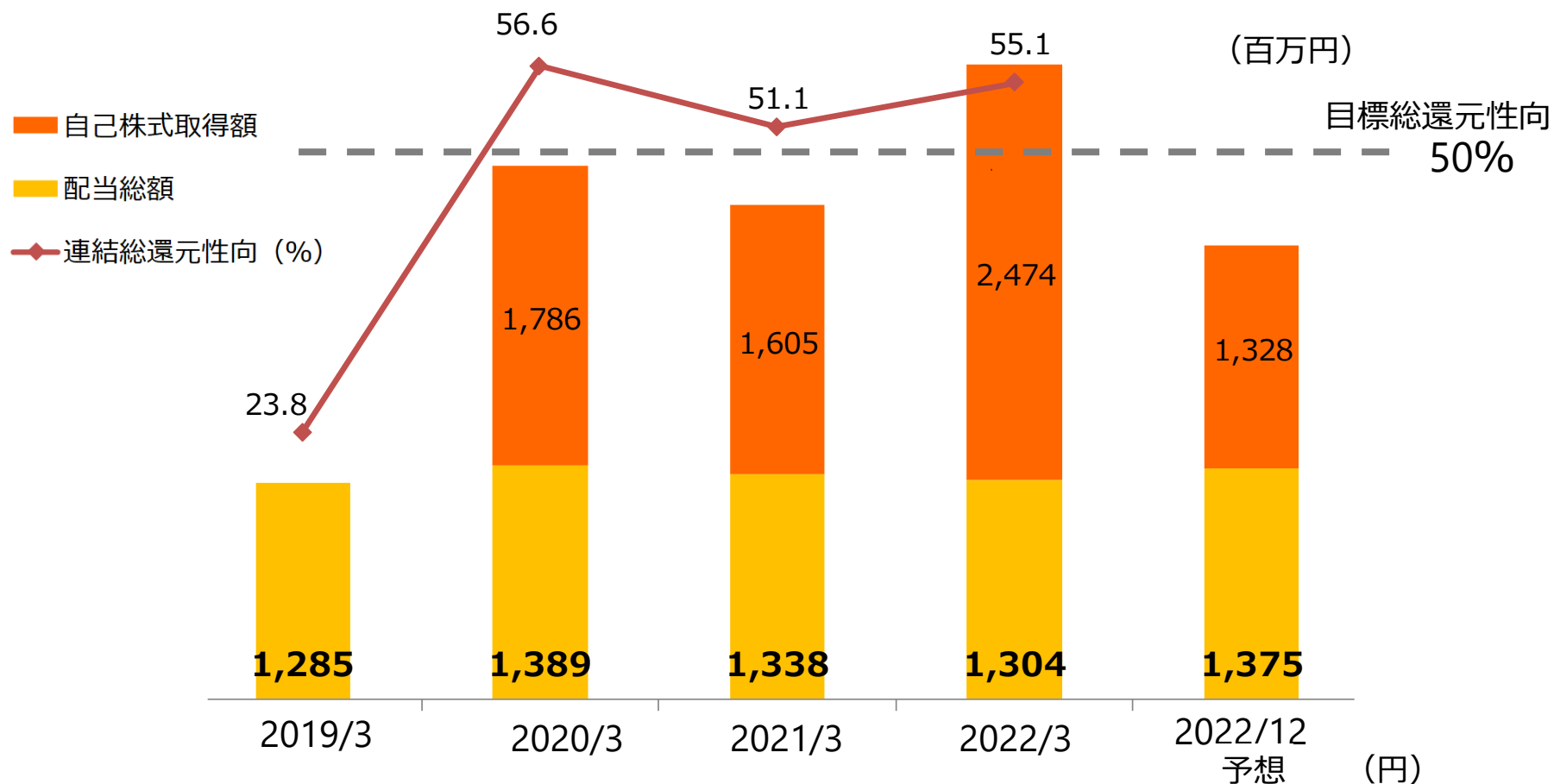
環境・社会課題の解決に資するビジネスの推進及び持続可能な社会の実現に向けて、効率的かつ最大限の貢献をする

マテリアリティ	取り組み	目標項目：2025年末目標値
<p>いきいきと活躍できる 職場環境づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ワークライフバランスの推進 柔軟で多様な働きかたへの取り組み 従業員の心と体の健康推進 多様な人材の登用と活躍 ハラスメント撲滅に向けた実効的な取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員サーベイによる高エンゲージメント者比率：測定・運用 ストレスチェックによる高ストレス者比率：8%以下 年次有給休暇取得率：70%/人以上 健康経営優良法人：健康経営優良法人認定 女性管理職比率：5%以上 障がい者雇用比率：2.3%以上
<p>安全操業・環境保全・ 安定品質の追求</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 安全文化の醸成 脱炭素社会移行への貢献 安全/環境/品質に対する設備投資の実行 レスポンス・ケア活動の推進 コンプライアンス・リスク管理の強化 持続可能なサプライチェーンの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 休業災害：0件/年度 GHG排出量：30%減・2013年度比 使用電力の再生可能エネルギー比率：10%以上 重大な環境・品質問題の発生：0件 水使用量の削減（化学品3工場・生産量原単位）：3%減・2020年度比 新規お取引先さまへのCSR適合の要請：100%
<p>新たな事業機会への挑戦</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 社会課題解決に向けた製品・サービスの創出 オープンイノベーション推進 挑戦する風土醸成、人材育成、制度設計 	<ul style="list-style-type: none"> 新規サステナビリティ貢献製品・サービス、及び既存事業の枠にとらわれない新規事業創出による売上高：25億円 新規事業部門の体制整備：基本運用システム構築 既存事業の売上高：770億円

Ⅲ - 9. 株主還元 - 配当推移 -

2022年9月に13億28百万円の自己株式を取得

1株当たりの年間配当金は、創業75周年 記念配当として、2円増配の26円の見込み



1株あたり 配当金(年間)	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2022/12 予想
	22.0	24.0	24.0	24.0	26.0 (予想)

(円)

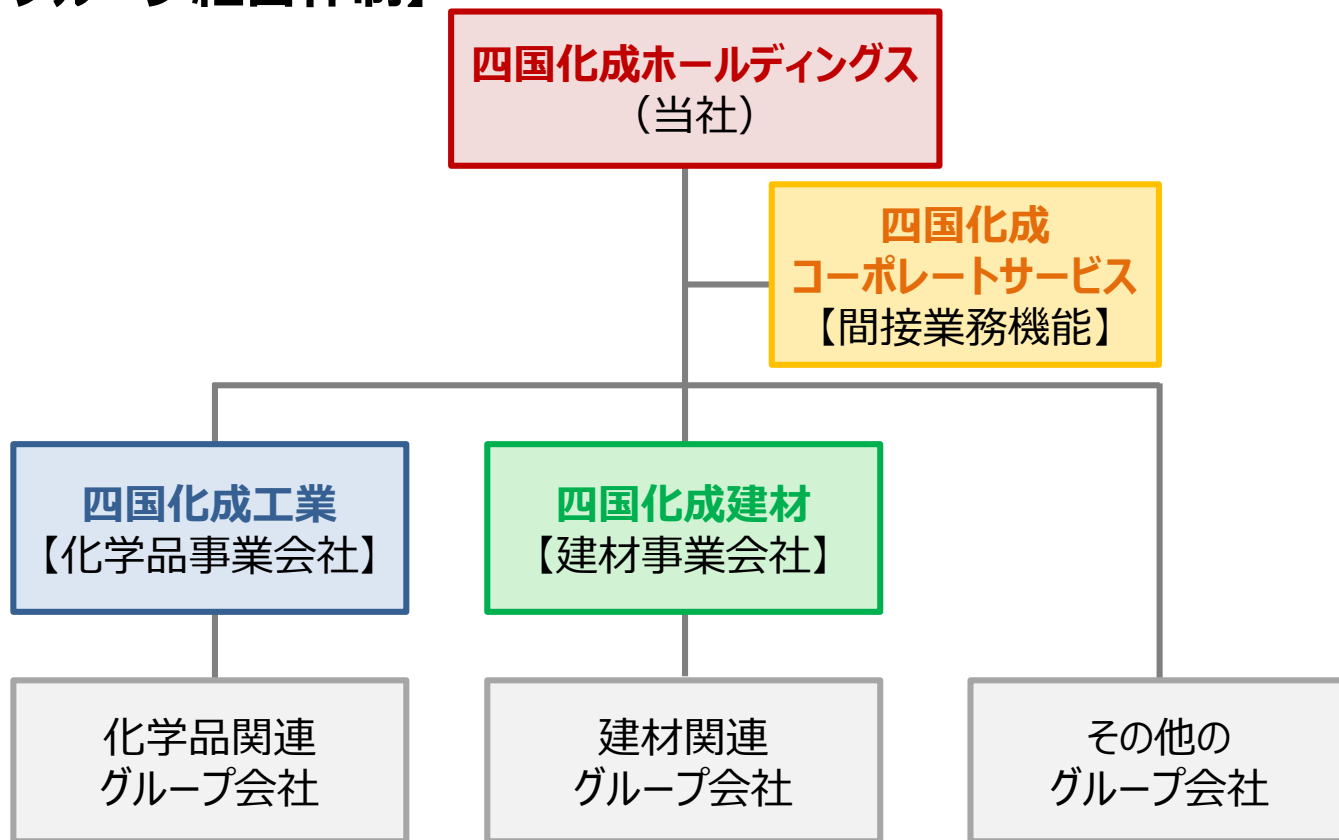
IV. 新組織体制について

IV-1. 持株会社体制への移行①

新生四国化成グループとして「Challenge 1000」達成に向けた事業体制を確立

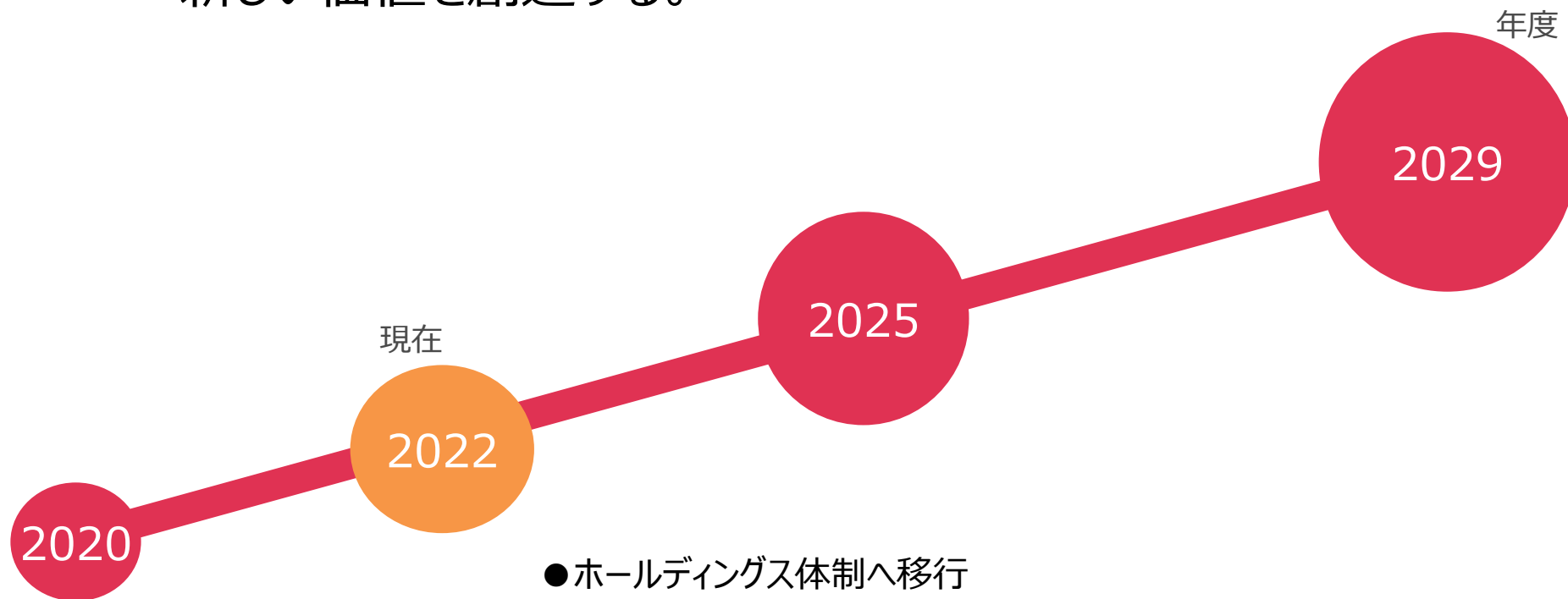
各事業が専門性を高め、スピーディな意思決定と効率的な事業活動を実現

【移行後のグループ経営体制】



IV-2. 持株会社体制への移行②

「全員参加型経営」という意識の下、グループ一丸となって新しい価値を創造する。



STAGE 1

STAGE 2

STAGE 3

ご清聴ありがとうございました

V. 參考資料

財務データ

V - 1. 連結貸借対照表

(百万円)

	2022/3	2022/9	増減	備考
流動資産	67,668	68,111	443	有価証券(+800)
固定資産	46,137	46,356	218	機械装置及び運搬具(+2,282) 投資有価証券(▲1,585)、建設仮勘定(▲1,298)
資産合計	113,805	114,467	661	
流動負債	19,109	18,919	▲ 189	支払手形及び買掛金(▲1,260)、 設備関係電子記録債務(+1,283)
固定負債	13,788	13,534	▲ 253	
負債合計	32,897	32,453	▲ 443	
純資産合計	80,908	82,013	1,105	利益剰余金(+1,722)、 その他有価証券評価差額金(▲876)
負債・純資産合計	113,805	114,467	661	
自己資本比率	70.3%	70.9%	0.6%	
ROE	8.8%	9.2%	0.4%	

V-2. キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2021/9	2022/9
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,275	3,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲626	▲1,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,928	▲1,937
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	▲230	617
現金及び現金同等物の期末残高	36,977	36,373
フリーキャッシュ・フロー = 営業活動CF-投資活動CF	1,649	1,898

◆営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、33億86百万円

主な収入項目：税金等調整前当期純利益（51億49百万円）、減価償却費（12億88百万円）
主な支出項目：法人税等の支払額（18億81百万円）、仕入債務の減少（14億81百万円）

◆投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、14億88百万円

主な支出項目：有形固定資産の取得による支出（12億24百万円）

◆財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、19億37百万円。

主な支出項目：自己株式の取得による支出（13億28百万円）

会社概要

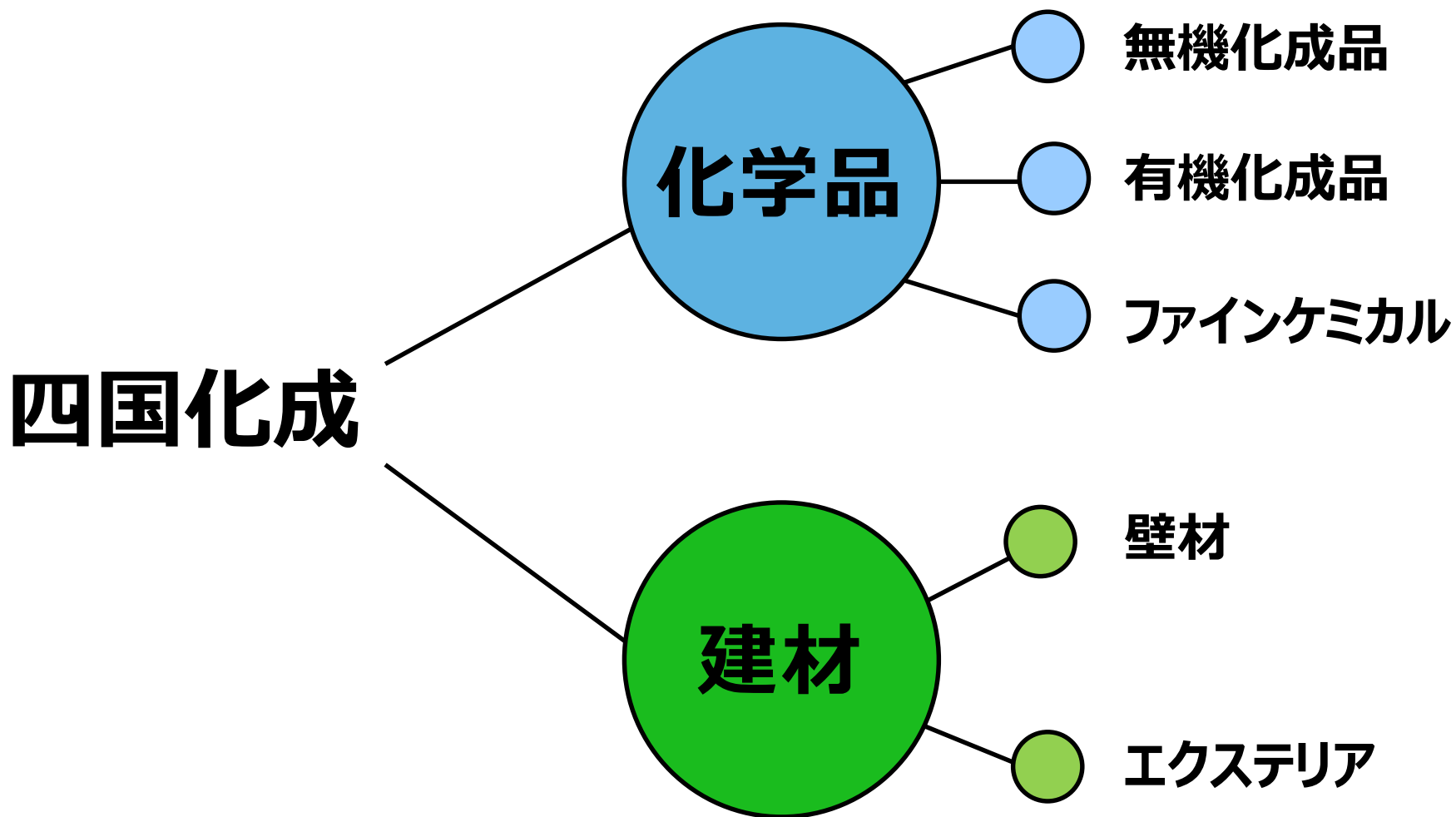
V-3. 会社概要

2022年9月30日現在

- 商 号 四国化成工業株式会社
- 証券コード 4099(東証プライム市場上場) 業種：化学
- 創 立 1947年10月10日
- 本社所在地 香川県丸亀市
- 社長兼C.E.O. 田中 直人
- 資 本 金 68億67百万円
- 従 業 員 数 1,227名 (連結)
- 売 上 高 541億円 (連結・2022年3月期)

V-4. 事業構成

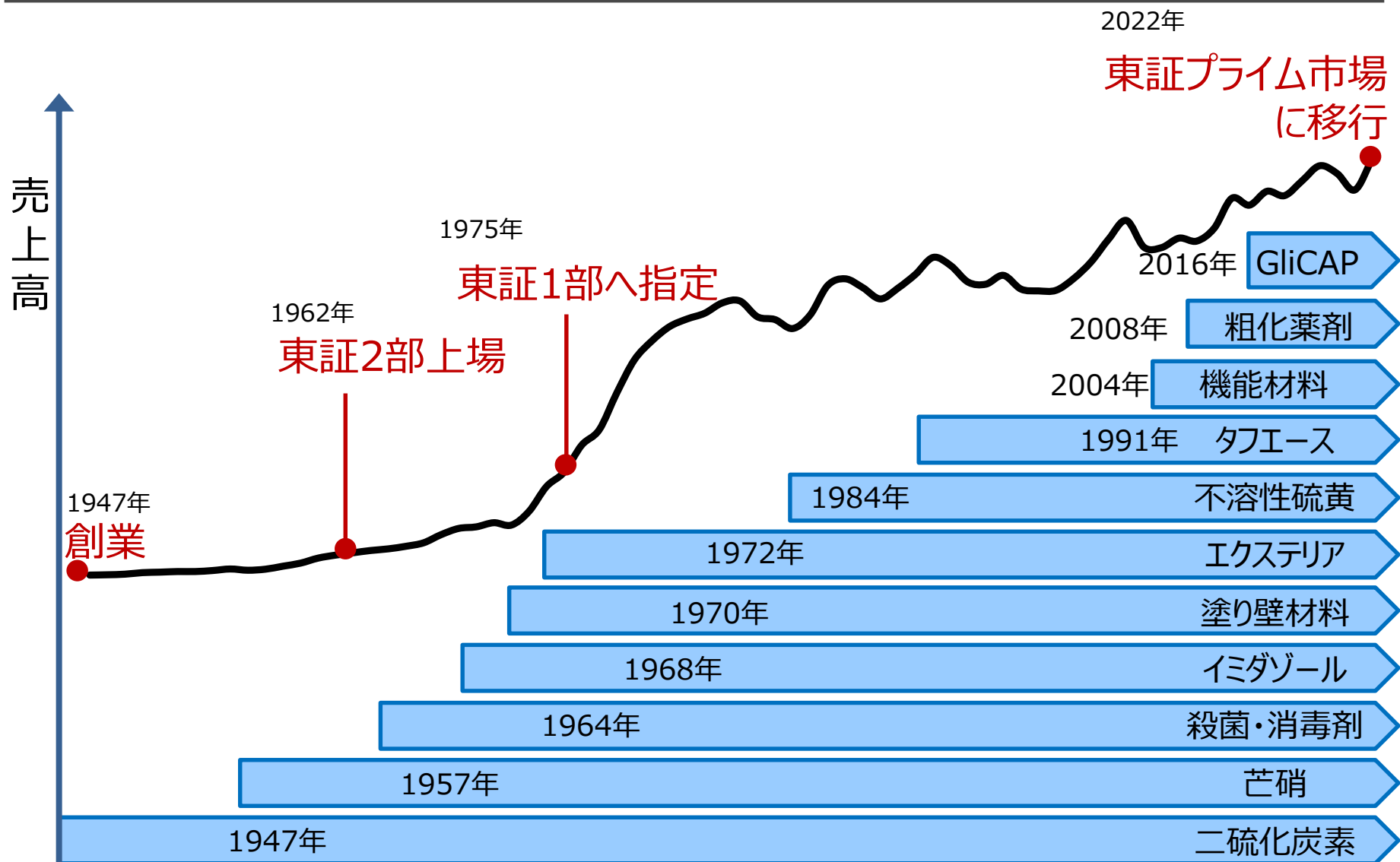
■ 化学品と建材の2つの事業が柱。



V - 5. 沿革

1947年10月	香川県丸亀市において、二硫化炭素(⇒無機化成品)の製造を目的に資本金200万円をもって設立
1957年10月	徳島第一工場（現・徳島工場吉成事業所）建設、中性無水芒硝（⇒無機化成品）の操業を開始
1962年 6月	徳島第二工場（現・徳島工場北島事業所）建設
10月	東京証券取引所第2部に上場
1964年 5月	徳島第二工場において、塩素化イソシアヌル酸（⇒有機化成品）の初の国産化に踏み切り、操業を開始
1969年12月	プリント配線板などの電子部品用水溶性防錆剤（後のタフエース（⇒ファインケミカル））の販売を開始
1970年 9月	建材部門進出を図り、徳島第二工場において内装壁材（JULUX）の生産を開始
1972年 6月	アコーディオン門扉（⇒エクステリア）の製造・販売を開始
1975年 3月	東京・大阪両証券取引所第1部に指定
7月	香川県多度津町に多度津工場建設
11月	徳島第二工場において、イミダゾール（⇒ファインケミカル）の本格生産を開始（'68年より試験生産）
1981年 6月	ロサンゼルスに駐在員事務所開設（85年にS I Cとして現地法人化）
1984年 7月	丸亀工場において、不溶性硫黄（⇒無機化成品）の生産を開始
1992年 9月	香川県宇多津町に研究センター（現・R & Dセンター）開設
1995年10月	埼玉県嵐山町に嵐山工場建設
2006年 7月	上海に現地法人 四国化成（上海）貿易有限公司 を設立
2008年	プリント配線板用粗化薬剤（⇒ファインケミカル）の販売を開始、丸亀工場にタフエース新プラント建設
2013年 8月	徳島工場に機能材料生産設備TAP-3(Tokushima Advanced Chemicals Plant-3)を建設
2014年 9月	国内唯一の二硫化炭素生産会社である日本硫炭工業（株）を連結子会社化
2015年 4月	台湾及びシンガポールに事務所開設
2017年 4月	日本工機（株）を子会社化
2021年 7月	徳島工場に機能材料生産設備TAP-4(Tokushima Advanced Chemicals Plant-4)を建設
2022年 4月	東証の市場区分再編に伴い、プライム市場に移行
4月	徳島工場に塩素化イソシアヌル酸の新生産設備（NEO2022）を建設

V-6. 沿革と売上高推移

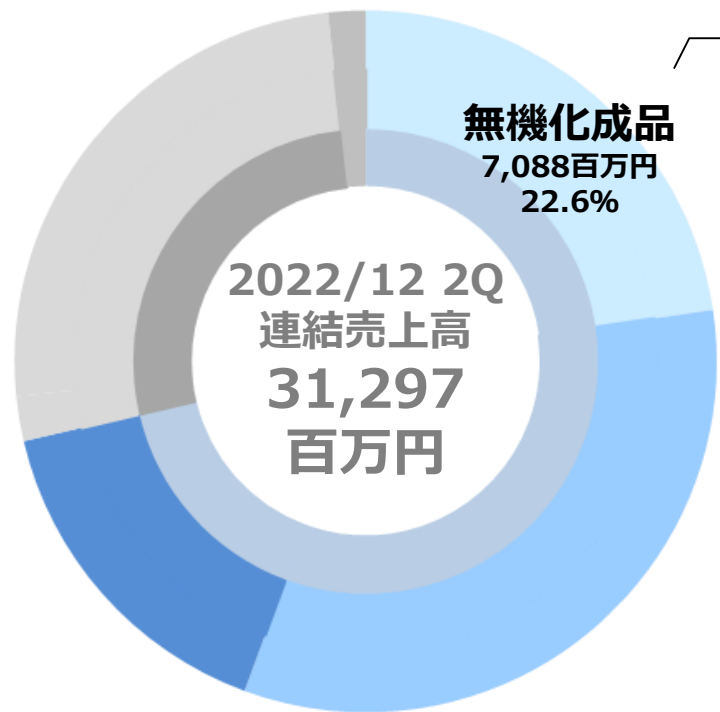


化学品事業

化学品事業

①無機化成品

V-7. 無機化成品



【主要製品】

- 二硫化炭素 … 化学繊維レーヨンの必須材料
- 不溶性硫黄 … ゴム加硫剤
- 無水芒硝 … 入浴剤の温浴効果促進剤
合成洗剤の洗浄助剤



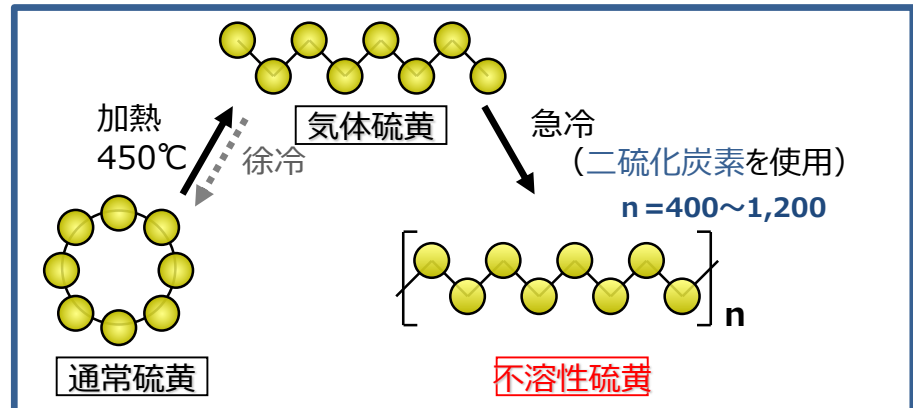
V - 8. 不溶性硫黄 - 製品紹介 -

- 用途：ゴム加硫剤
- 主要顧客：国内外のタイヤメーカー
- 原料のゴムは硬い状態であり、硫黄を加えて加熱（加硫）することで、伸びて縮む特性を持つようになる。
- ラジアルタイヤの生産工程で通常硫黄を使用した場合、ゴムの表面に硫黄がブルーミング（析出）し、ゴムの接着不良の原因となる。
不溶性硫黄は、原料ゴムに分散状態にいるため、ブルーミングを抑制できる。
- 不溶性硫黄の生産には、創業製品である「二硫化炭素」の高い取り扱い技術が必要である。
- 不溶性硫黄は、タイヤメーカーから高い品質が求められている。
そのニーズに応えるため、新プラントを建設することとした。
2023年4月に着工、2024年12月に生産開始予定。生産能力は1.2倍になる予定。

■ 不溶性硫黄



■ 不溶性硫黄の製造工程（模式図）



化学品事業

②有機化成品

V-9. 有機化成品



2022/12 2Q
連結売上高
31,297
百万円

有機化成品
10,314百万円
33.0%

【主要製品】

- 塩素化イソシアヌル酸…プール・浄化槽の殺菌消毒剤
(ネオクロール)
- ハイポルカ …排水・汚泥処理剤



V-10. ネオクロール-製品紹介-

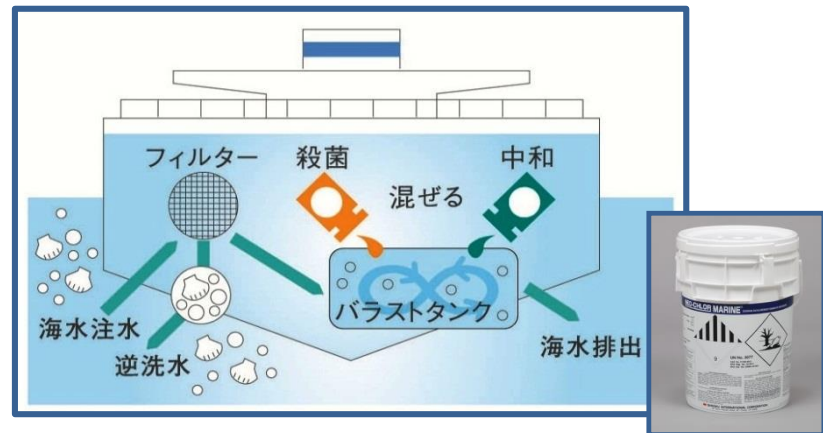
- 用途 : プール・浄化槽の殺菌消毒剤、業務用風呂・家庭用の塩素系衛生処理剤
- 主要顧客 : プール業者、学校、一般消費者（米国）
- 主成分 : 塩素化イソシアヌル酸
- プール用殺菌消毒剤「ネオクロール」は、他のプール用殺菌剤に比べ紫外線による分解が少なく、屋外プールでも長持ちする点や、長期間保存しても品質低下がほとんどない点が特長。
- プールや業務用風呂の自動塩素管理システム「ナピックス」で強みを持つ。
- 塩素が持つ強力な酸化・漂白・洗浄力を活かして、業務用・家庭用のサニタリー分野や、バラスト水（船底に積む重石として用いられる海水）処理、飲料水用途、各種施設での衛生管理用途などの様々な分野に展開中。

■ ネオクロール 製品群



塩素化イソシアヌル酸

■ バラスト水殺菌のイメージ

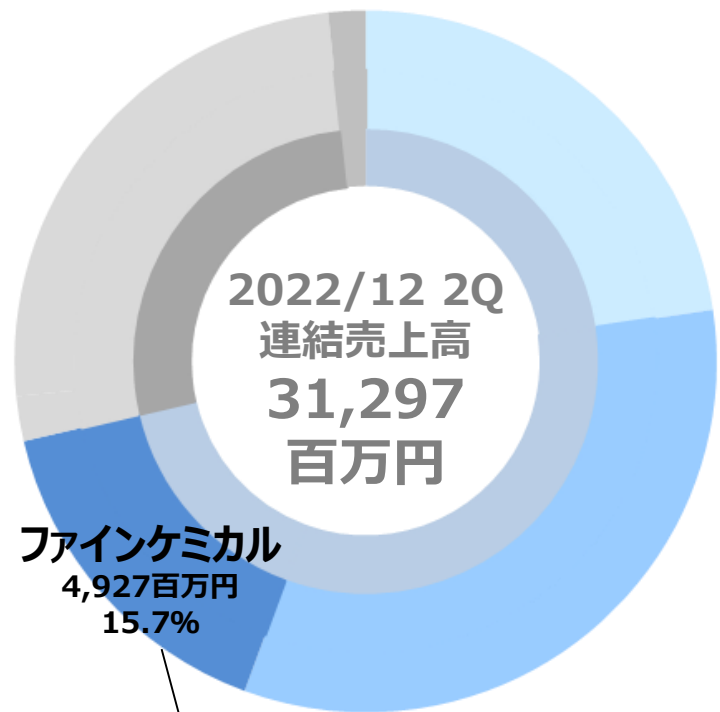


「ネオクロールマリン」荷姿

化学品事業

③ファインケミカル

V-11. ファインケミカル



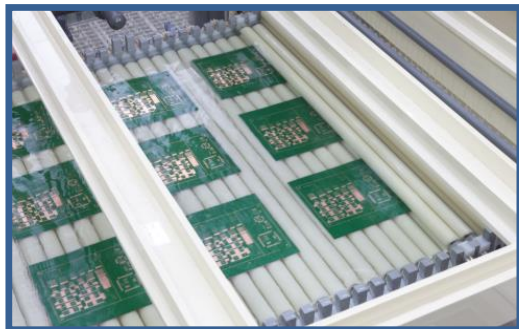
【主要製品】

- タフエース … プリント配線板向け水溶性防錆剤 (OSP)
- 機能材料 … イミダゾール類 (エポキシ樹脂の硬化剤) 樹脂改質剤、医薬品原料
- セイク … 耐熱電線ワニスの原料
- インク類 … ソルダーレジスト

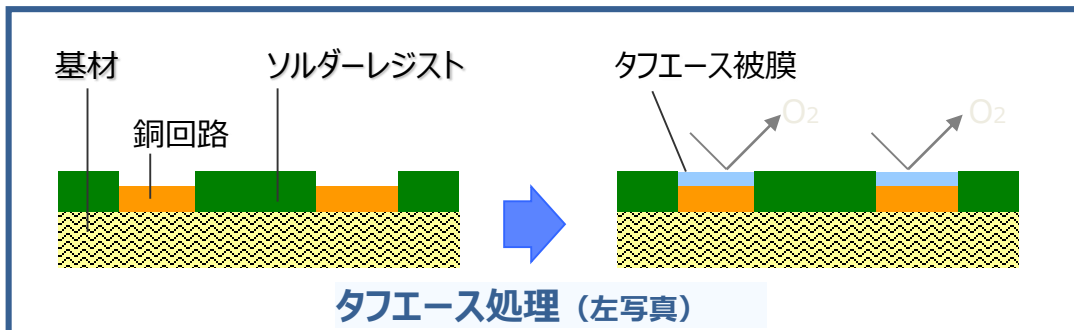
V-12. タフエース-製品紹介-

- 用途 : プリント配線板向け水溶性防錆剤
〔OSP : Organic Solderability Preservative〕
- 主要顧客 : 世界のプリント配線板メーカー
- **プリント配線板**の銅回路上に有機皮膜を形成し、露出した銅回路が酸化するのを防ぐことで、実装工程で良好なはんだ付け性を確保し、信頼性の高い電子部品製造に貢献する。
- OSPの主成分は、銅へ選択的に化学反応する特性を持つイミダゾール。当社はイミダゾールメーカーでもあり、OSPの要求特性にあわせて主成分を合成できる点が強み。
- プリント配線板の防錆剤は、OSPの他にも金属めっき等があるが、OSP比率は過半を占め、なお上昇中。
- タフエースは主要電機メーカーの材料指定を多数取得し業界標準に。他社に先んじて環境性能を高め、**自動車用電装部品**や**半導体パッケージ基板**でも採用実績が増加中。

■ タフエース処理槽を通るプリント配線板



■ タフエース処理 (模式図)

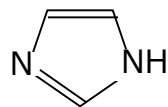
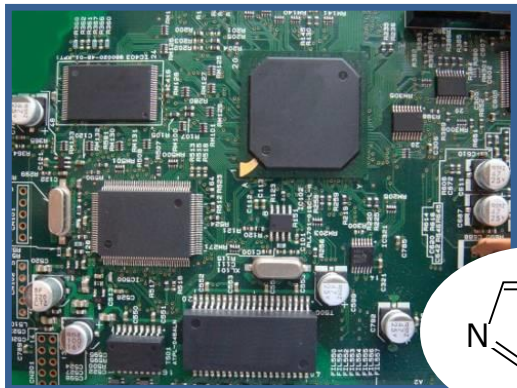


V-13. 機能材料-イミダゾール類

- 用途：エポキシ樹脂※の硬化剤・硬化促進剤、医薬品原料
- 主要顧客：樹脂材料メーカー、医薬品メーカー
- イミダゾールはエポキシ樹脂・ウレタン樹脂などの硬化剤、医農薬原料、防錆剤など各種工業薬剤の原料などに幅広く使用される。
- 当社売上高の大半はエポキシ樹脂硬化剤用途。
イミダゾールを配合したエポキシ樹脂は、電気・電子部品用途に最適な特性を持つ。
- 多品種のイミダゾールを揃え、ユーザーの求める多様な硬化速度・性質に対応。
- 競合品（非イミダゾール系）が強かった分野で、製品の性能向上のため顧客がイミダゾールを新たに採用する動きがある。

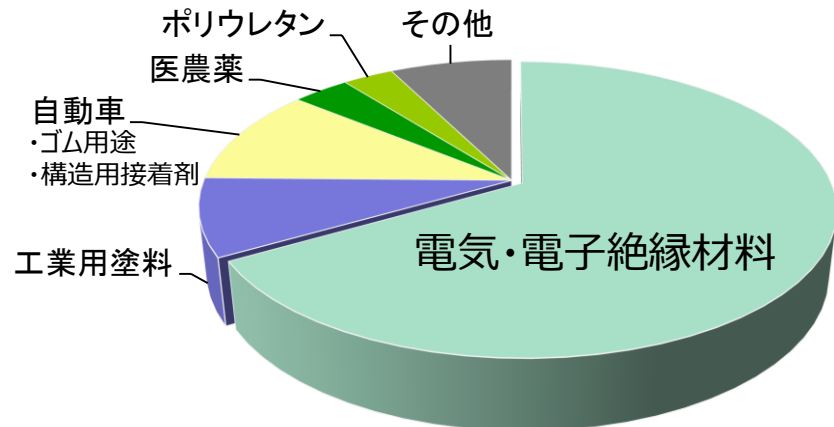
※ エポキシ樹脂：分子の末端に反応しやすいエポキシ基をもつ樹脂状の化合物、およびその化合物と硬化剤と重合させて生じる熱硬化性合成樹脂の総称。接着剤のほか、プリント配線板、塗料などに用いられる。

■ エポキシ樹脂が使われる電子部品（例）



イミダゾール

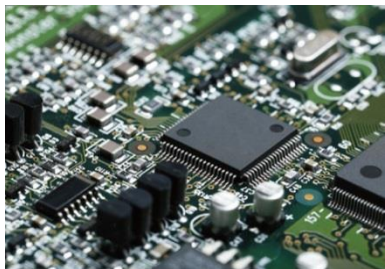
■ 当社イミダゾール類の用途



V-14. 機能材料-イミダゾール類

エンジンのCPU

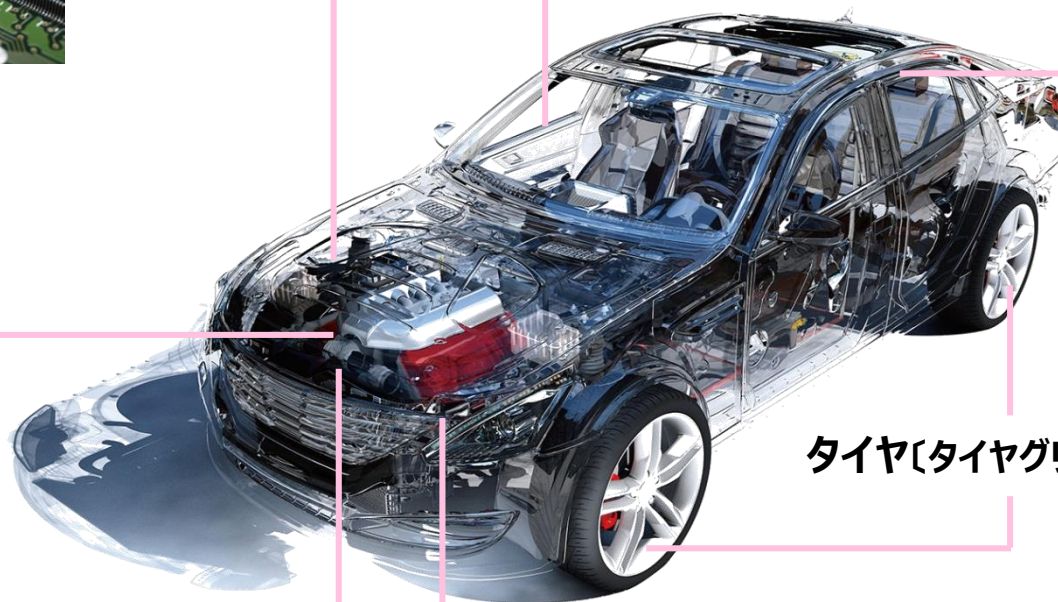
〔積層板、封止材、ソルダーレジストインク〕



ボンネット

〔CFRP（強化炭素繊維）〕

カーナビ〔液晶シール材〕



電装モーター

〔絶縁粉体塗料〕



骨組み部

〔構造用接着剤〕

タイヤ〔タイヤグリップ向上薬剤〕

エアホース

〔アクリルゴム薬剤〕



V-15. 注力製品（プリント配線板薬剤）

■ GliCAP®（グリキャップ）

- プリント配線板の銅回路と樹脂の密着性向上剤。
- 従来は、銅を粗化（エッチング）することで表面に凹凸をつくり、“機械的結合”（アンカー効果）で樹脂との密着性を向上させてきた。
- 半導体の高性能化につれて、高性能な半導体を実装するパッケージ基板では、銅回路幅が超微細化し、銅の粗化が困難になりつつある。
- 第5世代移動通信システム（5G）の実用化に向けて、更なる高速化が求められる高周波用サーバー基板では、高周波領域で銅表面の凹凸形状を受けて伝送損失が生じるため、平滑な表面の銅回路が求められている。
- GliCAP®は、「樹脂と強く結合する性質」と「銅と強く結合する性質」の両特性を合わせ持ち、銅表面を粗化することなく、“化学的”に密着力を向上できる。
- GliCAP®は、将来的にはプリント基板以外の市場への応用も視野に入れている。



V-16. 注力製品（機能材料）

■ 機能材料類

- 当社における機能材料とは、電子機器類に使用されている半導体等の電子部品の材料に配合する事で様々な機能性を向上できる製品（化合物）。
- 電子機器類の進化に伴い、使用される樹脂材料の特性向上（耐熱性や電気特性等）が求められており、当社の機能材料が検討される機会が増えている。
- 当社の機能材料の検討範囲は多岐にわたり、自動車や航空機等の構造材として使用される炭素繊維強化プラスチック（CFRP）でも、耐熱性や強度の向上を目的に検討が進んでいる。
- 当社は、イミダゾールやイソシアヌル酸で培った有機合成技術を活かし、新たな機能材料製品を研究開発していく。

V-17. 注力製品（機能材料）

■ 新規イソシアヌル酸誘導体

- 当社が蓄積してきたイソシアヌル酸合成技術を活用して開発した。
- 耐熱性・耐光性・透明性に優れ、封止材料などの改質剤に使用されている。

■ 新規密着性付与剤

- 樹脂に添加することにより、金属などの無機材料との密着性を改善することができる樹脂改質剤。従来の改質剤と同等の密着性が得られ、硫黄を含まないため従来品の課題であった金属腐食性を改善できる。
- 電子部品に多く使われるエポキシ系をはじめ、アクリル系、ウレタン系、ポリイミド系など幅広い樹脂材料へ展開を図っている。

■ ベンゾオキサジン

- 耐熱性・難燃性・電気特性に優れた樹脂。
- 炭素繊維強化プラスチック（CFRP）や半導体の封止材向けで検討が進んでいる。

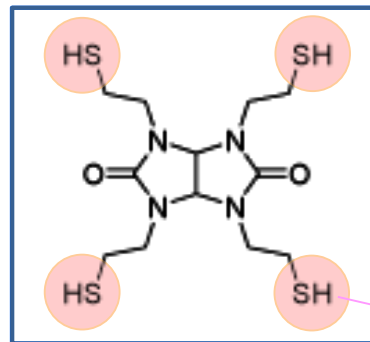
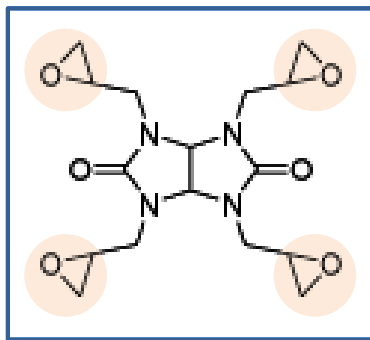
■ ベンゾオキサジン



V-18. 注力製品（機能材料）

■ グリコールウリル誘導体

- 多官能・透明・高耐熱性の樹脂改質剤。
- 4つの官能基を持ち、高架橋密度の硬化物が期待できる。



チオール基

■ グリコールウリル誘導体



グリコールウリル誘導体（一部）

- 官能基にチオール基（-S H）を有する製品は、低温で速やかにエポキシ樹脂と硬化する。従来の改質剤と比べ、硬化した樹脂の耐熱性、耐湿性、耐酸性、耐アルカリ性、硬度に優れ、課題であった耐熱性、耐湿性を大幅に改善できる。
- 高性能化や小型化が進む電子材料分野で、採用されている。

V-19. 注力製品（半導体プロセス材料）

■ 半導体プロセス材料

- 半導体プロセス材料は、半導体シリコンウエハの回路形成に使用される。超微細回路を形成するためにより複雑化しており、材料合成の難易度が飛躍的に高まっている。
- 材料中の含有不純物は、回路形成時の不具合原因となるため、特に金属不純物はppt（1兆分の1）レベルでの厳格な管理が要求される。当社は、この品質が生産可能なプラント（TAP-4）を新設した（2021年7月稼働開始）。
- 半導体材料の評価スピードは非常に速く、迅速な化合物合成ルート構築が要求される。当社は、独自の有機合成技術をもとに、複雑な構造を有する化合物を合成するための多段階の合成ルートと、pptオーダーの金属管理を実現する精製工程から成る製法を構築し、迅速に新規材料を提供している。
- 当社開発品が使用された半導体は、最先端のスマートフォン、PC、自動車等、世界中の電子機器に使用されている。
- 同分野で2030年までに20億円の売上を目指す。



半導体シリコンウエハ



TAP-4（徳島工場）

建材事業

建材事業

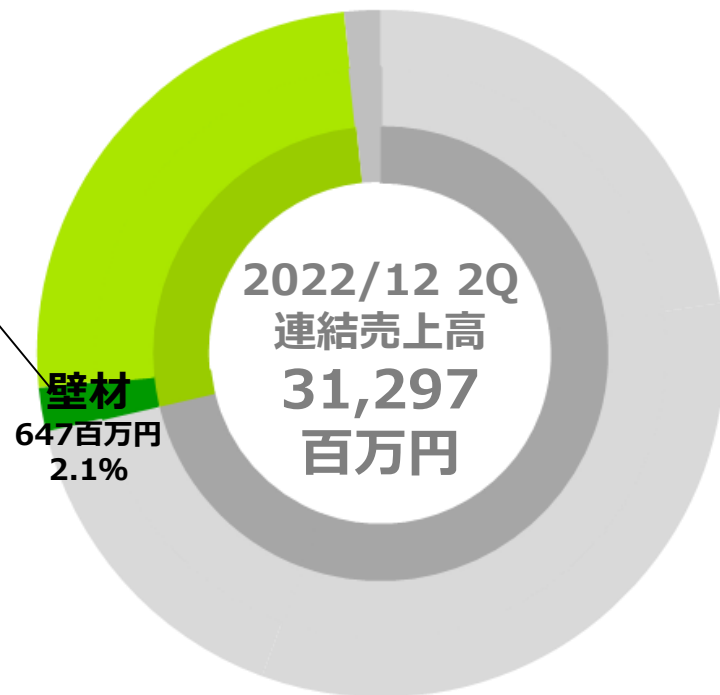
④ 壁材

V-20. 壁材

【主要製品】



- 内装材（けいそう壁・自然素材壁）
調湿機能、有害な化学物質や生活臭の
吸着・分解機能をもつ塗り壁材
- 外装材
住宅向け湿式外装材
- 舗装材
天然石舗装材、リサイクルガラス舗装材
ゴムチップ舗装材

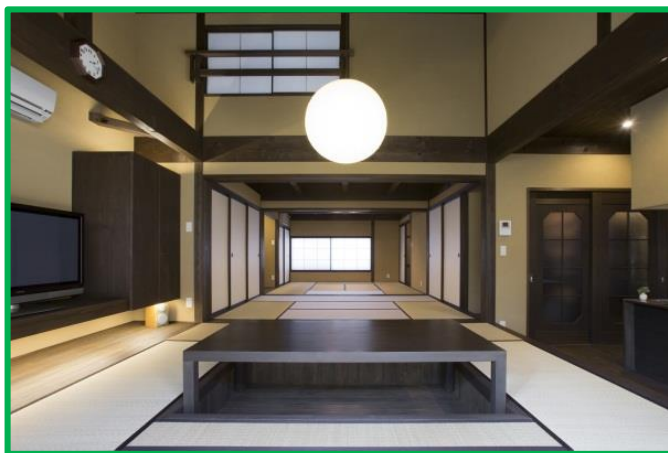


V-21. 壁材

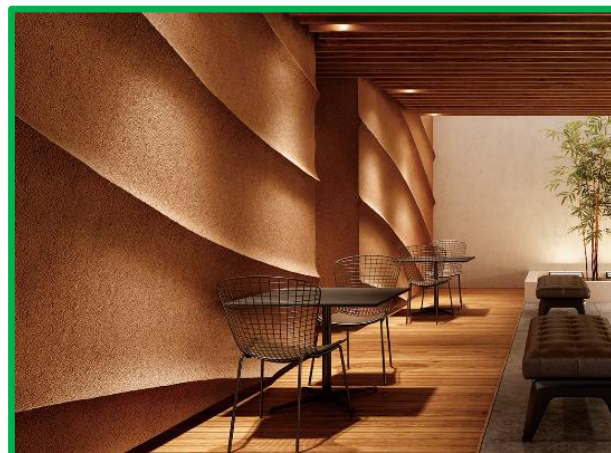
◦ 内装材

- 自社製化学糊料CMCの用途展開として開発した、塗り壁材における日本初の工業製品「JULUX（ジュラックス）」が発祥。
- 日本の伝統的な壁である聚楽壁は取り扱いが難しいが、当社の壁材は所定量の水を混ぜるだけで均一な品質を保つことができる。また、塗り壁はシックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドなどの化学物質やニオイを吸着する性能が高いため、改めて注目されている。
- 商業・公共空間設計やこだわりある注文住宅をターゲット市場とする高意匠性を特長とした商品展開を行っている。厚塗りを活かした立体感と多様な模様付けにより、空間に彩りと表情がもたらされる。

■ けいそうジュラックス土壁（内装材）



■ クレアデコール（内装材）



「JCDプロダクトオブザイヤー2021」
準グランプリ受賞

V-22. 壁材

◻ 外装材・舗装材

- ◻ 建物やエクステリアの外側を覆う「外装」、道路やアプローチの表面を覆い固める「舗装」にも展開。
- ◻ 外装材はカラーを含め豊富なバリエーションがあり、表面のテクスチャーまで手作業で仕上げるため、微妙な表情が可能。舗装材では、天然石、天然砂、ゴムチップ等の素材を揃える。
- ◻ 外装材・舗装材ではエクステリアの商流を活かし、相乗効果を生み出している。

■ 弾性パレットクリームHG (外装材)



■ リンクストーン S (舗装材)



建材事業

⑤エクステリア

V-23. エクステリア

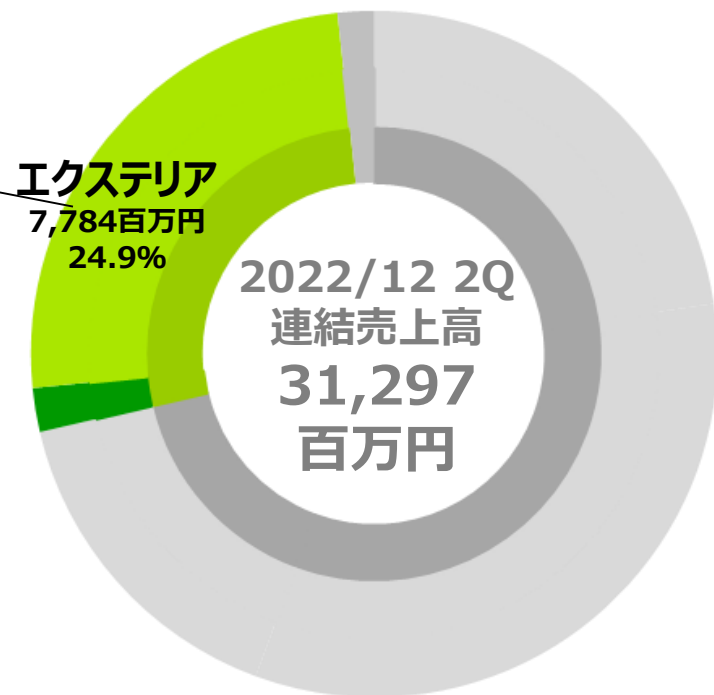
【主要製品】

住宅エクステリア

- 門扉・フェンス・カーポート・デッキ
 - アコーディオン門扉（伸縮門扉）
 - アートウォール（アルミ システム塀）
- 】 **業界初** 当社開発品

景観エクステリア

- 大型門扉・フェンス・通路用シェルター・駐輪場
- ゴミ集積庫（**業界初** 当社開発品）
- 屋上緑化等



V-24. 住宅エクステリア

- 急速にモータリゼーションが進んでいた1971年、伸縮機構で簡単に開閉でき、日本の狭小な宅地事情にも応えた「アコーディオン門扉」を考案、車庫前門扉のスタンダードとなった。
- その後、一般門扉、車庫（カーポート）、フェンス、また、デッキ材やテラスなどに商品ラインナップを強化していった。
- 機能を重視しつつデザインにも注力しており、1984年にはエクステリア業界初の「Gマーク」（現在のグッドデザイン賞）を獲得した。
- フラットな木調の天井材を用いたシンプルで建物と一体感のあるデザインのテラス『ファンルーフ』が2019年度グッドデザイン賞を受賞した。

■ ファンルーフ（テラス）



■ マイポート 7（カーポート）



■ クレディアコー（アコーディオン門扉）



V-25. 景観エクステリア

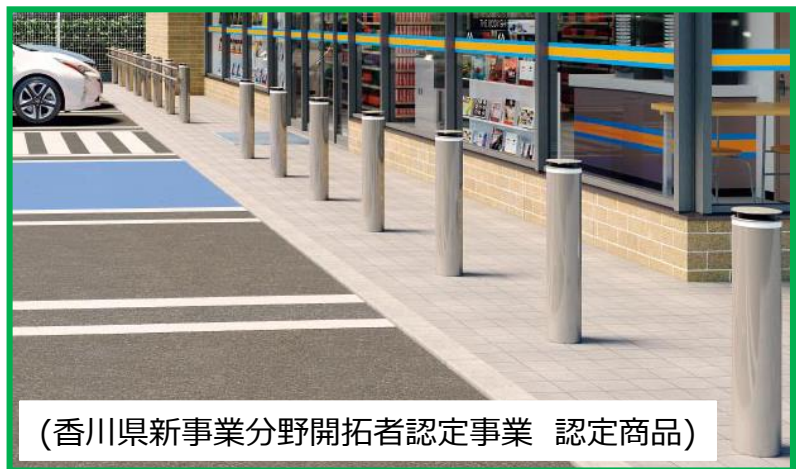
■ ライズルーフⅡ Lタイプ (通路用シェルター)



■ マイルーフ7(セブン) 駐輪場タイプ



■ GTパイル (高強度車止め)



■ ゴミストッカー P S型 (ゴミ集積庫)



V-26. 建材事業の取り組み

- 昨今、台風など大規模な災害が全国で相次いでいることを踏まえ、当社は風雪に強い高強度のエクステリア製品のラインアップを充実し、拡販を進めている。
- 景観分野で培った強度基準・品質を全ての商品へ展開し、建築基準法に準拠した高い品質・強度の製品開発に取り組んでいる。
- 高強度商品のラインナップとして、大型フェンス、アーチウェイ、大型引戸、カーポートに加え、戸建住宅用フェンス、独立テラスの商品化を行っている。

■ 高強度大型フェンス GTFシリーズ



■ メリルーフ 積雪地用



■ マイポートOrigin 積雪地タイプ



■ 高強度大型引戸 スタックラインGT



■ 独立テラス スマートトップ 高強度用



長期ビジョン

V-27. 進捗状況（事業変革方針）

2022年度は「STAGE 1」の最終年度。
目標達成と続く「STAGE 2」でさらなる成長を目指していく。

事業名	トピックス	STAGE 1目標
無機化成品	<ul style="list-style-type: none">不溶性硫黄の品質向上の取り組みを継続硫黄起点の開発品の事業化検討	連結売上高140億円 (2022/3実績121億円)
有機化成品	<ul style="list-style-type: none">生産設備の充実(バルク品、ODM品等)サニタリー分野の強化	連結売上高100億円 (2022/3実績130億円)
ファインケミカル	<ul style="list-style-type: none">機能材料：半導体プロセス材料のニーズ対応の強化。樹脂改質剤の新規用途(低誘電、CFRP)開拓タフエース：ノンハロゲンかつ長期保存安定性を実現した新規OSPの販売を目指すGliAS(タフエース自動分析装置)：取扱開始。トータルソリューション提案を目指すGliCAP：承認活動、実績化	連結売上高80億円 (2022/3実績97億円)
建材	<ul style="list-style-type: none">高強度の商品を武器に営業活動の強化スマートファクトリー化により、生産効率向上を推進	連結売上高250億円 (2022/3実績179億円)

V-28. 進捗状況（全社変革方針）

多様な働き方に対応する基盤づくり、自ら変革していくという意識の醸成や仕組みづくりに取り組んでおり、概ね計画通りに進んでいる

項目	トピックス
価値づくり	<ul style="list-style-type: none">◆ブランド価値の向上（四国化成品質を策定）◆マテリアリティの設定◆新規事業創出に向けた取り組みの実施（社内公募の実施）
余力づくり	<ul style="list-style-type: none">◆テレワークの推進等、業務の効率化への取り組みを実施・働く場所にとらわれず、効率的な働き方ができるテレワークを推進・インフラ整備の充実
拠点づくり	<ul style="list-style-type: none">◆生産拠点の最適化・壁材生産拠点を徳島工場吉成事業所に移転
組織づくり	<ul style="list-style-type: none">◆目指すべき組織体制決定に向けた準備の実施・持株会社体制への移行
風土づくり	<ul style="list-style-type: none">◆長期ビジョンの浸透、部門間の壁をなくす交流活動を実施・ワークショップ、座談会等イベントの開催
人財づくり	<ul style="list-style-type: none">◆社員が積極的に挑戦できるような環境を整備 （加点方式の挑戦目標を導入など、評価制度の見直し）

V-29. 事業変革方針

化学品事業

世界の進歩のために、進化と深化を続ける事業

ありたい姿

無機

取り扱いが難しい素材を循環的に活用し、世界の技術革新、環境保全に貢献する事業

有機

環境・衛生を守り、世界中の人にキレイを届ける事業

ファイン

独自技術による高機能な製品を提供し、技術の発展に貢献する

新技術で世界のスタンダードを創出

戦略シナリオ

硫黄取り扱い技術、合成反応評価技術を蓄積。硫黄活用を起点として新たな価値を創出し、事業領域を拡大する。

水環境・衛生などの社会課題に応じて顧客ニーズを先取りし、独自技術やサービスで殺菌・洗浄の最適な提案を実現する。

ニーズを先取りして独自性があるテーマを確立し、有望顧客とともに技術を確立する。蓄積した独自技術をもとに高機能な製品を開発。

市場動向を見据えたテーマを設定し、強みを活かした製品開発を行う。顧客目線のトータルソリューションを提案していく。

V-30. 事業変革方針

建材事業

未来の暮らしをデザインし、
笑顔でらせる世界の街づくりに貢献

建材

ありたい姿

未来の暮らしをデザインし、
笑顔でらせる世界の街づくりに貢献

価値提供プロセス

デザイン性と機能性を追求した独創的な製品で
国内外の多様な人財やエンジニアをひきつけ、
獲得する
独自の製品カテゴリーで提携推進、世界に展開

V-3 1. 全社変革方針

■ 2030年に目指す姿の実現に向け6つの全社変革方針を設定し、全グループを挙げて推進していく

2030年に
目指す姿

独創力で、“一歩先行く提案”型企业へ

独創的なアイデアで社会課題を解決し、世界をリードする

全社
変革
方針

① 価値づくり

ブランド価値の向上と 新しい事業への挑戦

- 四国化成品質の向上
- 新規事業やそのアイデアを誰もが提案し挑戦できる仕組みを確立

② 余力づくり

変革リソース確保に向けた 効率化実現

- 無駄の排除と業務の簡素化・標準化
- IT等の技術活用による効率化
- 人員の最適配置と働き方の見直し

③ 拠点づくり

世界への足場づくりと 世界展開の加速

- 全社拠点戦略の策定
- 国内での生産・開発・販売拠点の最適化
- 海外での生産・開発・販売拠点の最適化

④ 組織づくり

ビジョン実現に向けた グループガバナンス体制の確立

- 最適なグループガバナンス体制の構築
- 海外展開に対応したグループガバナンス体制の確立

⑤ 風土づくり

多様性を認め、挑戦を 後押しする風土の醸成

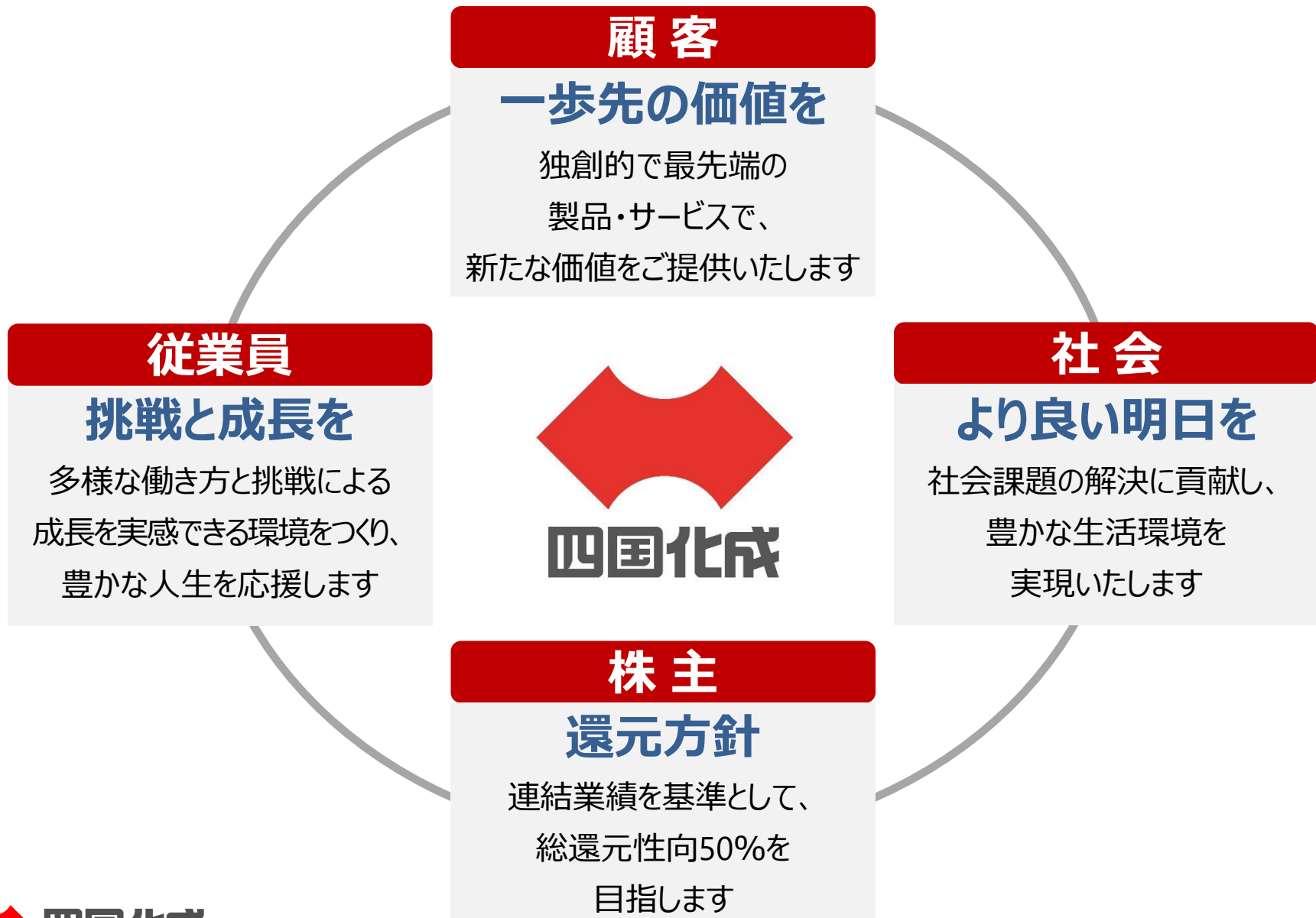
- “提案型スタイル”の従業員への浸透
- “提案型”を育てる風土の醸成
- 多様な働き方に対応した就労環境の整備

⑥ 人財づくり

個人の挑戦を促し、 公正に評価する仕組みの構築

- 求める人財を惹きつける採用の仕組み確立
- 一人ひとりを尊重した成長の場づくり
- 評価体系改定と運用強化

V-32. 四方よし—ステークホルダーへの貢献—



お問い合わせ先

四国化成工業株式会社 社長室

TEL : **0877-21-4119**

FAX : **0877-22-0411**

www.shikoku.co.jp

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報や予測に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり売買の勧誘を目的としたものではありません。当社では投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。